



◆八木山地区小地域福祉ネットワーク研修会(令和4年7月21日)



7月21日(木)に八木山地区地域福祉ネットワーク研修会を実施いたしました。

今回は後期高齢化率では八木山地区よりも一歩進んでいる長命ヶ丘の取り組みを紹介していただきました。

講師は次の通り。

- ・長命ヶ丘連合町内会 会長 伊藤 勝行氏
- ・NPO法人 まちづくりスポット仙台
ディレクター 岩間 友希氏

八木山地区社会福祉協議会 大野会長から、コロナの影響で3年ぶりの開催であること、さらには社会福祉について地域全体として取り組んでいる長命ヶ丘の取り組みを紹介していただいて、八木山のこれからの運動の参考としたいという挨拶で研修会が始まりました。

当日の研修会には、連合町内会長はじめ、民生委員や福祉委員など約50名の方に参加していただきました。

長命ヶ丘の「人口減にともなう小学校存続の危機感」から「いかに小学生を増やすか」という連合町内会全体の運動論として旗幟鮮明な取り組みを行っていることに大いに啓発を受けました。

八木山地区では、総合的には他の地区に引けは取らないと思われるものの、取り組みの焦点がそれぞれにあり、取り組みを全部並べると良くやっていると評価されるフシがある。いわゆる旗幟が無いことによる、全体としての満足感が薄いのではないかと。長命ヶ丘の取り組みを聞いて、そのように感じられた方が多いという研修会でした。



～小学校存続の危機感から、世代を超えたグランドデザインの策定～長命ヶ丘の取り組み

◆長命ヶ丘のホームページ

街の基本情報や歴史・オモシロ情報・地区内で起きる様々な催事について情報発信を行っている。まさに、総力戦で連合全体で取り組んでいる状況が一覧でき、HPで情報共有を図っている。



長命ヶ丘地区で進む活動一覧表

活動の名称	カテゴリ	開始年
ショッピングモールが進めるまちづくり	各活動を横串でつなぐ活動	2019年
グランドデザイン策定		2021年
WEBで情報発信		2020年
各種団体懇談会		1998年
地域IDOBATA会議		2014年
学校運営協議会(コミュニティ・スクール)	子育て支援活動	2020年
ロングライフ未来塾(放課後こども学習室)		2020年
ロングライフヒルコミュニティ協議会		2012年
ママカフェ		2019年
長命音頭	愛着を育む活動	1992年
長命太鼓		1995年
小学生考案のゆるキャラ&公式ソング		2013年

◆グランドデザイン策定〈各活動をつなぐ〉

漠然としやすいまちづくりについて数字で示し、「何のために」「なぜ」を分かりやすい日本語でVISION BOOKで表現することで各団体の活動を横に束ね、共感を増す活動。少子高齢化に伴い、児童数は年々減少しており、「ソフト面でもハード面でも子育て世帯に選ばれ続けるまちを目指すこと」を明記したグランドデザイン(全体構想)の策定を行っている。

◆八木山地区小地域福祉ネットワーク研修会(令和5年2月16日)

「このまちで私の一役」

7月21日の研修会では、長命ヶ丘町内連合会とNPO法人まちづくりスポット仙台のまちづくりへの取り組みに大変刺激を受けましたが、振り返ってみると八木山地区も頑張っているんです。

「住みよい八木山に！」の思いで活動をしている数多の団体のうち、今回は次の4つの取り組みを選び、「このまちで私の一役」として紹介します。これらを横のつながりと捉え、今後の地域福祉活動に参加するきっかけとなれば幸いです。

①「ハーブまちづくり」と「みんなのカフェ」

(八木山まちづくりプロジェクト 伊藤 美由紀氏)

「八木山まちづくりプロジェクト」は、「シニア世代も子育て世代も住みやすく住みたくなる福祉のまちづくり」を目指して発足し、空き家・空き地調査をはじめ、2018年4月から、仙台市の助成を受け、「ハーブをツールとしてつなげるまちづくり」の活動を始めました。この活動は、まずはハーブを楽しみながら地域の方々の顔と顔が見える関係を築こうと、ハーブ講習会やハーブ栽培を実施しています。2019年からは、多世代の交流の場として、「八木山みんなのカフェ」を始め、1月にはスマホ教室を開催。



ハーブ講習会



スマホ教室



ここは軽井沢ですか？



竹ちぐら

※希少な日本タンポポの群生地です

②八木山テラス活動 (金剛沢緑地愛護協力会 高橋秋男氏)

2年半前までは草茫々の日赤脇の金剛沢緑地(恐竜山の西側)、これではいけないと立ち上がって設立された金剛沢緑地愛護協力会。会員数は76名(1月末現在)、区の助成金や会員のボランティアでお陰様で“ここは軽井沢ですか？”と間違われるほど素敵な緑地になり、散策する人も増えてきました。

そこで、昨年「公財 都市緑化機構」の「緑の環境プラン大賞」に～住民が憩う新しい里山「八木山テラス」の創生～と題して応募して、最高賞である「国土交通大臣賞」を受賞し、工事助成金800万円(Max)を得ることが出来ました。東北大学から寄贈していただいた仙台城二の丸の石垣を活用し、多段式の花壇や雨庭を3月末を目途に製作中です。乞うご期待。

③ただもん市 (一般社団法人:ございん八木山 井上則雄氏)

土地家屋の無償譲渡の受け皿として設立された「一般社団法人ございん八木山」は、譲渡された土地家屋を活用し、町の居場所作り、“困った”をつなぐネットワーク作りをミッションとして活動している。

活動の一環として、昨年夏から、終活の手助けとして、また入り用の人につなぐ無償譲渡会「ただもん市」を開催している。メディアにも取り上げられ、八木山のみならず、名取や岩沼、多賀城市などからの参加者が増え、お宝さがして盛り上がっている。

無償で譲渡を受け、無償で貰い受ける、究極のSDGsの地域版として注目を集めています。



お宝はあるかな？

夏休みラジオ体操



八木山商店街まつり

④八木山の元気を届ける！(八木山から元気を届ける会 山口 茂氏)

新型コロナウイルスの流行(2020年～)で人同士の交流断絶・経済の円滑な循環が鈍化し、委縮している地域の人たちに、みんなで苦難を乗り越えようと立ち上がった団体が「八木山から元気を届ける会」。

○八木山からおはようさん！CD作成(シンガーソングライター亜KIRAさん提供) ○キャラクターLINEスタンプ作成 ○花柳登代尋さんによる踊りの提供で「おはようさん体操」動画作成/フレイル予防で老人会へ配布 ○各種イベントへの展開/ベーブルース八木山球場での吉岡徹也氏の「仮想試合実況放送」や坂道の看板をデザインした「7つのまちなか歩数表示板」など、地元八木山の魅力、人材の発見に努めています。

◆防災訓練を実施しました

10月15日防災訓練が行われました。

防災会長より地域防災の傾向についてお話があり、避難とは避難所に集まることではなく、危険を避けること、食料、水、トイレを中心にそれぞれにあった形の物品も考え準備しようとお話がありました。

そして危機管理室減災推進課の早坂様の指導により、机上防災訓練(DIG)が行われました。6名ほどのグループに分かれ八木山地域の地図を前に危険箇所や狭い道等、町のことを話し合った。最後に地域の強みや課題など話し合い発表・・・様々な地域の方と顔見知りにもなり充実した時間を過ごしました。

★DIG(ディグ)は、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練です。

Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字を取って命名されました。DIGという言葉には、「災害を理解する」「まちを探索する」「防災意識を掘り起こす」という意味も込められています。



机上防災訓練(DIG)



～DIGの例～



「避難」の意味と「備え」をもう一度考えましょう！

※この記事は前号でも紹介したものです
大事なことなので再掲いたします

八木山地区は水害や崖崩れ等の少ない地域です。家族の無事と家屋の安全が確認されたら、迷うことなく住み慣れたわが家での「在宅避難」です！

・避難所は、自宅に住めなくなった人のための一時的な生活場所です。「避難＝避難所への移動」ではありません。

・避難所は、一人約一畳程度のスペースしか確保できず、プライバシーの確保が難しいほか、衛生面の問題などもあります。しかもコロナの影響で、避難所に収容できる人数も制限されています。

〈在宅避難生活への備え〉

必要物品の用意

- ・食糧や飲料水(1人1日3リットル)を3日から7日以上用意しておきましょう(循環型備蓄)。
- ・生活用水は、ポリタンクなどで備えておきましょう。
- ・災害時用の簡易トイレを用意しておきましょう。
- ・カセットコンロ、ガスボンベ(予備も)を備えておきましょう。
- ・懐中電灯・ラジオ(手動式)・電池(携帯電話のバッテリーも)などの備蓄をしておきましょう。
- ・自分専用のものなどで、なくては困る日用品を用意しておきましょう。(例)メガネ、コンタクトレンズ、生理用品、おむつ、哺乳瓶、補聴器など。

Topic!

八木山地域おさんぽパトロール・ わんわんパトロール活動

9月8日、八木山地域おさんぽパトロール・わんわんパトロール活動を立ち上げました。

おさんぽパトロールとわんわんパトロールは、無理なく安心なまちづくりを実現させるための地域での取り組みのひとつです。タグやリードボーンをつけてウォーキングやジョギング、犬の散歩をすることで「ながら見守り」をアピールします。

立ち上げにあたって行われた活動開始の会では、八木山地域包括支援センター所長の松永なおみ氏による認知症サポーターの研修も行われました。どちらの活動も、支援が必要な人に、地域の人ができる範囲で無理なく手助けするという共通点があります。

現在、おさんぽパトロールに46名、わんわんパトロールに39名の方が参加しています。見守る目を増やすことが必要です。地域全体の安全を保つためにも、みなさまのご参加をお待ちしています。

～ワンちゃんも地域の安全に

一役かっていますよ🐕～



◆認知症による徘徊が増加 ➡ ワンちゃんの手も！
(八木山地域包括支援センターより)

八木山地区は初期造成団地のために他の地区に比べて高齢化が進んでいます。そのために認知症になる人も増え、比例して徘徊する人も後を絶ちません。その時頼りになるのが、防犯協会であり、青パトです。事案の発生の都度、協力要請させていただいております。ご協力に感謝しております。

この度、八木山地域おさんぽパトロール・わんわんパトロール活動が発足したことにより、猫の手ならずワンちゃんの手も借りることになりました。皆様のご協力により地域全体の安心に取り組んでいます。



※青パト出動！

フリガナ氏名 (男・女)
住 所 仙台市太白区
(大正・昭和・平成・令和) (RH + -)
生年月日 年 月 日生血液型
電 話 ()
携帯 ()
記入年月日 令和 年 月 日

緊急時連絡カード
私はフリガナ氏名: です
私が倒れたりしている場合には
すぐにこれを読んでください
〈八木山地区 社協・民児協・包括支援センター〉

※緊急時連絡カードは必ず携行しましょう！

令和4年度 八木山社会福祉協議会会費納入状況

(単位:円)

町内会名	普通会費	特別賛助会費	合計
青 葉 苑	34,500	1,000	35,500
青 山	18,900		18,900
青山第一	39,900	19,000	58,900
青山二丁目	51,000	2,000	53,000
青 山 恵	42,900		42,900
恵 和 町	84,000	2,000	86,000
桜 木 町	123,300	10,000	133,300
さ つ き	10,800	1,000	11,800
松 が 丘	164,900	3,000	167,900
み つ ば	11,700		11,700
八木山八光台	39,900		39,900
八 木 山 東	66,700	1,000	67,700
八木山本町第一	154,200	1,000	155,200
八木山本町二丁目	150,000		150,000
緑 花	51,000	5,000	56,000
八木山団地緑風会	12,000		12,000
若葉苑自治会	22,500		22,500
八木山民児協		22,000	22,000
合 計	1,078,200	67,000	1,145,200

※社協費納入合計金額の半額が八木山地区社会福祉協議会に還元され、昼食会・サロン等の費用に助成されます。令和4年度は新型コロナ感染予防対策として町内会の各行事が自粛され、ふれあい昼食会を記念品配布に切り替えた町内会もありました。

- お散歩パトロール、わんわんパトロールの名札やリードボーンを購入し、町の安全安心に一役かっています。
- 「安心カード」(令和版)を作製・全世帯に5枚配布しました。

令和4年度 昼食会・サロン・すこやか等助成金実績

(単位:円)

項目	延べ人数	助成金額
ふれあい昼食会(1町内会)	30	26,100
昼食会代替(5町内会)	403	120,900
サロン	687	68,700
すこやかクラブ	650	65,000
合計	1,770	280,700

令和4年度 赤い羽根共同募金報告

(単位:円)

町内会	募金額	町内会 他	募金額
青 葉 苑	55,000	八木山本町第一	100,000
青 山	6,720	八木山本町二丁目	150,000
青山第一	80,000	緑 花	90,000
青山二丁目	68,000	八木山団地緑風会	17,000
青 山 恵	50,000	若 葉 苑	34,900
恵 和 町	70,000	町 内 会 計	1,340,672
桜 木 町	204,100	街頭募金	コロナで中止
さ つ き	2,500	市民センター内募金	コロナで中止
松 が 丘	225,952	街頭募金計	0
み つ ば	17,500	八木山地区団体	30,000
八木山八光台	66,000	〃 法人団体	88,000
八木山東	103,000	法人・団体計	118,000
ご協力 ありがとうございました		募金合計	1,458,672



～編集後記～

2023年は卯年です。ウサギは多産であるため生命のシンボルとされるほか、ジャンプすることから卯年は発展・飛躍の年になるといわれますが、コロナ禍や気候変動、物価上昇、ウクライナ侵攻など、私たちの暮らしが世界につながっていることを実感する新年となりました。

大切な人とのふれあいが制限される中でもできることを続け、身近な幸せを積み重ねていきましょう。

今年は元気で「一人一役」いかがですか？

(連絡先) 大野貴子

